

全国わさび生産者大会静岡大会、わさびフェス・わさびバルについて

全国わさび生産者大会静岡大会が開催され、初めて静岡市で開催される。

静岡市としては、大会への協力と、大会開催を記念して、市街地でわさびを食べたり、わさびに親しんでもらうイベントを開催する。

全国わさび生産者大会静岡大会

(1)第 38 回全国わさび品評会

日程：令和5年 11 月8日(水)13 時 00 分～17 時

会場：グランシップ静岡 6階 交流ホール

内容：わさびの生産技術の改善と商品価値の向上を図るため、要領に基づき審査、賞を授与する。

出品点数：145 点予定(根茎の部 130 点、丸掘の部 15 点)

褒章：50 点

主催：全国わさび生産者協議会(事務局 静岡県山葵組合連合会)

※会員県：岩手、栃木、群馬、東京(奥多摩)、新潟、山梨、長野、岐阜、静岡、鳥取、島根、山口 12 県
うち 8 県が出席

(2)第 57 回全国わさび生産者大会

会場：グランシップ静岡 6階 交流ホール

日時：① 通常総会 令和5年 11 月9日(木)13 時 30 分～14 時 30 分
：② 生産者大会式典 14 時 30 分～17 時

開会の言葉：実行委員長(静岡県山葵組合連合会会長 塩谷 吉栄)

主催者挨拶：大会会長(全国わさび生産者協議会会長 小長井由雄)

歓迎の挨拶：静岡市長 難波喬司

品評会審査講評：審査員長(静岡県農林技術研究所所長 岩崎 敏之)

品評会表彰式：農林水産大臣賞以下 50 点。静岡市長賞は4番目。

来賓祝辞：林野庁特用林産対策室長、静岡市農業協同組合代表理事組合長 ほか

記念講演 静岡県農林技術研究所伊豆農業研究センター わさび生産技術科科长 久松 奨

その他、台風の写真展示やわさび関係の展示

参加人数：約 210 人

(3)圃場視察

日時：令和5年 11 月 10 日(金)9時～13 時

視察場所：有東木地区(あおい高原、生産圃場)

出席者：全国のわさび生産者 61 名、他市場関係者や行政(研究センター等含む) 計約 70 名

大会同時開催イベント

(1) わさびフェス

日時：令和5年11月10日(金)15時～20時

会場：紺屋町名店街 道路(歩行者天国)

内容：わさびの販売、飲食、展示等

ポイント

- ・全国わさび生産者大会静岡大会の開催を記念して、市民や近隣住民の方に世界農業遺産に認定されていることやわさびの産地であることを周知し、産地としてより一層盛り上げたい目的で実施。
 - ・わさび(チューブや粉を除く)を食べる機会が少ないことから、気軽にわさびを食べたり、わさびについて知ることを目的として、わさびを好きになってもらったり、わさびに対する意識を上げるブースを出展。
 - ・特に若者のわさび離れが謳われていることから、「FREAK'S STORE 静岡店」と連携し、若者が参加しやすい雰囲気づくりやInstagramを活用した企画も実施する。
- ※このほか、FREAK'S STORE コラボのオリジナルわさびスウェット販売も。
- ・紺屋町名店街道路の平日の歩行者天国を活用した初のイベント。(本イベントでは通常の歩行者天国時間を延長して実施)
 - ・わさび料理やわさびに合う料理を提供する飲食ブースのほか、わさびのことがわかるパネル展示や試食も実施する。
- ※詳細はチラシをご覧ください。

(2) わさびバル :おまち(約30店舗)

日時：令和5年11月10日(金)～30日(木)頃 ※わさびがなくなり次第終了

内容：「おまち」エリアの飲食店約30店が、品評会のわさびを使用したメニューを提供する。

運営：おまちバル実行委員会(お店集め、PR等)

ポイント

- ・全国大会の開催を記念して、わさびのファンを増やすため、市民や近隣住民がわさびを食べる機会をつくり、飲食店で気軽に食べれる取組を実施。
 - ・期間中提供するわさびメニューは、品評会に出品されたわさびを使用する。
 - ・おまちバル実行委員会の運営により、おまちエリアの飲食店約30店で実施する。
 - ・11月17日から秋バル(いわゆる「おまちバル」)が開催され、バルメニューになっているお店もあり、10日以降もわさびを食べることができる。(30日まで、わさびがなくなり次第終了)
- ※参加店などはチラシから特設ページ(電子ブック)をご覧ください